

原齒科醫院

平町七橋通り電話三一三番

名特 入提 手供 拭供



福島縣平町五丁目
吉田屋 染工場
(電話五五八番)
(振替台五三二八番)

徒弟 入用
一三四歳位ノ者四五名

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

年末聯合福引大賣出し

十二月廿一日より 七日間
全月廿七日まで

お買上金高壹圓毎に
福引券壹枚進呈

特等 桐箆筒貳重 一等 白米貳俵
二等 キツコーマン ヒゲタ醬油六樽
三等以下七等まで
山なす景品でございます

山町聯合

切斷の苦しみなく
ゆひはれ、やけど
淋病、梅毒
きりきり、乳はれ
くさ、りう、まら
其他化膿、一切

靈藥ムテキ

左記特約店にありませう、御便利の所にて
御求めください

代理店 平町古鍛冶町(電話四四番)
阿康藥店

特約店
好間村山マカキ 阿康支店
下小川村 阿康支店
東京府下大森町 夏目商店

常新新聞

日刊 發行部編者人川崎文台 本社下同番地(電話六三〇番)

定部金貳錢 一版(五新十二) 二版(五新十二) 三版(五新十二) 四版(五新十二) 五版(五新十二) 六版(五新十二) 七版(五新十二) 八版(五新十二) 九版(五新十二) 十版(五新十二)

刊夕日二十二月二十

本年掉尾大興行
(短期四日間の公映)
マキノプロダクション特作
品、大谷友三郎、マキノ輝
子協力主演

江戸怪聞前後十八巻上巻
お洒落狂女 大
市川小文治、松浦築枝、杉
狂児、大谷萬六共演

時慶安の頃、突如大江戸を
戦慄せしめたる怪事件とは
何事ぞ、渦は渦を巻き謎に謎
を生む

帝キネ探偵大捕物大連続劇
前中後三篇二十巻上巻
尾上紋十郎、松枝鶴子、中
村小福、賀川清、市川寛十
郎主演

捕物影繪の如く
奇談大老の権勢を張りし
井伊大老その権勢の出没が
當時頻々たる怪盗の出没が
ある怪盗又亦綿綿並に佛像
を奪ふ目明し奉行の活動怪
盗との衝突大爆烈弾?

愈々三十一日より公開の名
畫

大帝キネ近來の超努力作品
富士會我物語
月雪花全廿巻公映

帝キネ **有聲座**
廿三日より割引券持参の方
は十五錢です

待かねの特製
生菓子
イヨく本日より發
賣致します

又祝折詰物
大勉強致します

外に永野特製パン日曜日毎
に二割引是非御来店を乞ふ

永野キヤンデ
ーストアー
平町二丁目 電話七五五番

來る十二月廿一日より卅日迄
歲暮大賣出し

秩父銘仙米澤糸織陳列會
■年末年始の御進物は丸龜の優美なる
商品券!御使ひ召され.....

■マーケット部新設、格安品!見切品!!!
御進物には最も値頃品澤山積んで掘出しを待つて居ます

■年末大奉仕として.....
白キヤラコ足袋十八錢
黒朱子 二十八錢
キヌ天足袋 二十二錢

買ひよい店
人氣の中心は

中野吳服店
平町三丁目(電話六七番)

飲むこそぐキク
クノ一散

齒痛、神経痛、頭痛の特効藥
平町各藥店に販賣す
試みられよ、

マルトモの新年あはがき
文字ハガキ、カレンダー
マルトモノ
クリスマスカード
年々圖案が變り
美しさをますますばかり
一度はお目を通して
置ませぬと

文化の大勢に
遠ざかります

常用日記 懐中日記
各種年鑑 會計用品々
和洋帳簿 復寫帳類

不景氣時に處するに完全
な帳簿と正確な記録が必
要です、マルトモの名人特
製品をおすすめ致します

マルトモ
柴田書店
平町四丁目停車場通角
電話二三三四番

日本料理
五品

清酒一本附
何卒御用仰付
の程願上候

忘年会
新年會
同窓會

平町南町
大和屋
電話一四番

景氣の根柢 (38)

經濟學博士太田正孝氏述
ごう云ふ事かと云ふと日露
戰爭と云ふのは二十億圓費
用が掛りまして其中で十五
億五千萬圓と云ふ金は借金
したのであります、日本の
立場から申しますと戰爭と
云ふことになりませぬと税の
金では間に合ひませぬので
大抵の場合借金をして行く
のであります。無論通行税
と云ふ足に掛けた税は日露
戰爭時代であつたついで此の
間まで續いて居つたが斯う
云ふやうな税では足りませ
ぬから外國から借金をして

戰費を整へるのであります
西南戰爭の時は一千五百萬
圓掛つて居ります、それは
十五銀行から借金をした即
ち當時は第十五國立銀行と
言つて居りましたがそれか
ら千五百萬圓の金を借りた
らうして西郷隆盛の首を打
つた。日清戰爭の時は幾ら
掛つたかと云ふと二億一千
五百萬圓掛つたそれから日
露戰は日清戰爭の恰度十倍
十九億八千四百萬掛つて居
る其中十億五千萬圓は借金
をしたのである、私共の先
輩は國の爲だと云つてあん
な借金をした二十年前のこ
とであるから其間には景氣
好かつた時もあるから十五

億五千萬圓の借金もモウ残
りは少なくなつたであらうと
お考へになる方もありませ
うがまだ十億圓残つて居る
誰がそれをお返しになりま
す、露西亞のやうに自分が
借りた金を踏み倒さない限
りは又日本帝國が存在する
限りはお互が拂はなければ
ならぬお互の可愛い子や孫
の時代迄拂はなければなら
ぬ金であります。今お互が
懐から出す税は十六億四千
萬圓でありますそれから將
來の國民の負擔になる金が
幾らかと云ふと昨年暮の
勘定に於ては五十一億七千
萬圓であります。

(つづく)

静かに行なふ

今年のクリスマス

先帝の御一年祭に當り

▽平町の各教會

「天には榮光、地には平和、人には恵みあれ」基督教徒の一年一回の喜びである基督教の降誕祭である「クリスマス」の二十五日も迫つた。然し今年のクリスマス

當日たる 二十五日は長くも先帝崩御の御當日で第一年に相當してゐる。我等日本國民に取つては最も悲しむべき當日である。國民が去年の今日を想起して、もつとも厳しくなるべき日である。この當日たる二十五日にメリイクリスマスは餘りに日本國民として不謹慎である子供遊びの遊びめいた事柄であつたとしても大に慎まねばならぬ事であると相當問題にさ

御大典 待つ酒造界

景氣を待つ酒造界

石城郡に於ける酒造界は昨今漸く弗々酒も現れ愈々明年の活躍を待たんとする姿にあるが大體に於て本年は斯界の不況近年稀なるものにて四割の持越酒は前年の高値米で醸造されたものでもあり各醸造家は何れも相當の打撃を蒙つてゐるため一般本年造り込み

程度の不況 安値なりしと明年の御大典景氣も控へ居るとなれば本年の不況なりしに引き換へ明年は相當の活躍を演ずるに至るべきかと觀測されてゐる

平 努力週間

昨日から一週間

平驛では書入れの歳末に入つて出荷着荷は勿論乗降客

われもくくと

賣込希望が多い

磐城米は一俵二圓高

政府の新米買上価格は二十日農林省から發表されたがそれによると磐城米一俵十圓六十錢、二等十二圓九十二錢、三等十二圓六十八錢、四等十二圓三十六錢で地方の相場に比較すると一俵につき二圓高であるので錦、勿來地方の生産者はこの買上に應じたいから斡旋してくれと二十一日朝縣穀物検査所支所に申込んで來たが各町村でも賣込希望の向が多いらしいので郡農會では相當斡旋すべく直に各町村農會に通牒を發した

正月用みかん 日十噸入荷

價格は上向

平町へは昨今静岡地方を主として毎日十噸内外の蜜柑が移入されてゐるがその賣れ行きなども昨年と比較して頗る良好であると言はれてゐる相場も出廻り最初は昨年より一割弱方の安値を傳へられてゐたが昨今漸く一般的に正月用として各方面の需要を喚起するに至つた爲め強硬に轉じ静岡郡物一箱六十錢見當より大玉は八十錢位に復活し尙安値を

喪章付國旗

御一年祭當日に

大正天皇御一年祭は來る二十五日に相當するので市民



家庭欄

御承知ですか 青や黒のあぶり出し ぶり出しは、座輿としても又子供の教育上の實驗としても鳥度面白くものであるが、鹽化コバルトを薄く水

年の暮には

泥公迄が調子づく

刑事の眼に寫つた

慌たしい歳晩の世相

さらびやかな人の購買慾にそり立てて歳暮賣出しの雑踏の店頭や驛待合室や遊廓や街頭に一寸見當りつかない服装をし絶えず異様な眼を光らして、人の顔をじろくみつめてゐる男の姿を近頃は各所で見受けられま

數も非常に多く二十一日から二十七日迄一週間を努力週間となし運轉輸送貨物旅客の各方面に亘つて努力することになつたと

年末の犯罪

各家庭でも

十分は警戒

年末年始に際して銀行會社その他各種團體を當の犯罪が續出したは窃盜、詐欺、横領といふ事件がとみに増加する傾向があるので不署ではこの際取締を一層嚴重にし各家庭においても十分警戒するやう努められたといふ

鮪漸く好漁

今迄に六千圓

石城郡沿海地方における鮪は本年度は一般に不漁であつたが江名町第三富山丸は千葉縣勝浦沖に出漁去月二十三日から本月十五日までの漁獲高は二十日現在で約六千圓で俄に豊漁を示した小名濱町本縣水産試験場では數日後前記勝浦沖合を根據として所屬船磐城丸を出動させる豫定である

に溶いてそれで紙の上へ文字を書くに火にあふれば文字は綺麗に青色に現はれてくる、又稀硫酸で字を書いた常温で乾かせると文字は全く認めることが出来ないがこれも火にあふれば立派に黒く現はれてくる。曇り硝子の落書を消す法硝子などのスリ硝子に鉛筆

で一人が平日の五六倍も盗み働くから犯罪が外見増してゐる如く見ゆるのです貧民長屋の附近を歩いてゐるとよく夫婦喧嘩をしてゐるのを見受ける、話をきいて見ると原因は金がないこと云ふ事何時も金はないのだから何も改まって喧嘩をしないこともよさそうなものだ矢張りこれも暮氣分のせい

平町人事

△出生

△北目町一 郡山市清水谷鈴木 四郎氏長女富美子

△一丁目二 小野左司男長男弘 雄

△死亡

△揚土二四 南武男(三六)

兎の耳

可愛い口元の人魚 人魚と言へば腰から上は玉顔麗容の美女で腰から下は魚になつてゐるとは誰もが

思ふ所であるが、其人魚が去十八日宮崎市外一葉ヶ濱で荒い濱男の手に捕へられた身長一尺位人達が夢に描いてゐるやうなものではないがその顔は人間にそっくりで殊に可愛い口元である捕へるとすぐ死んでしまつたので皆残念がつてゐるが今之を市の勸業課長が箱に入れて大事にしてゐると